



MTS-a 工法

MTS-a construction method

■ 工法の概要

MTS-a工法は、一般廃棄物や産業廃棄物の最終埋立処分場での遮水工において、遮水シートを2重にして安全性を高めるとともに、そのシートがなんらかの事故によって破損したとしても、直ちにその場所と影響を確認し、必要であればそのまま修復することを可能にしたシステムです。

■ 工法の特徴

漏水時に浸出水を自然流下により排出させ、目視で簡単に異常の有無を確認できます。

Point

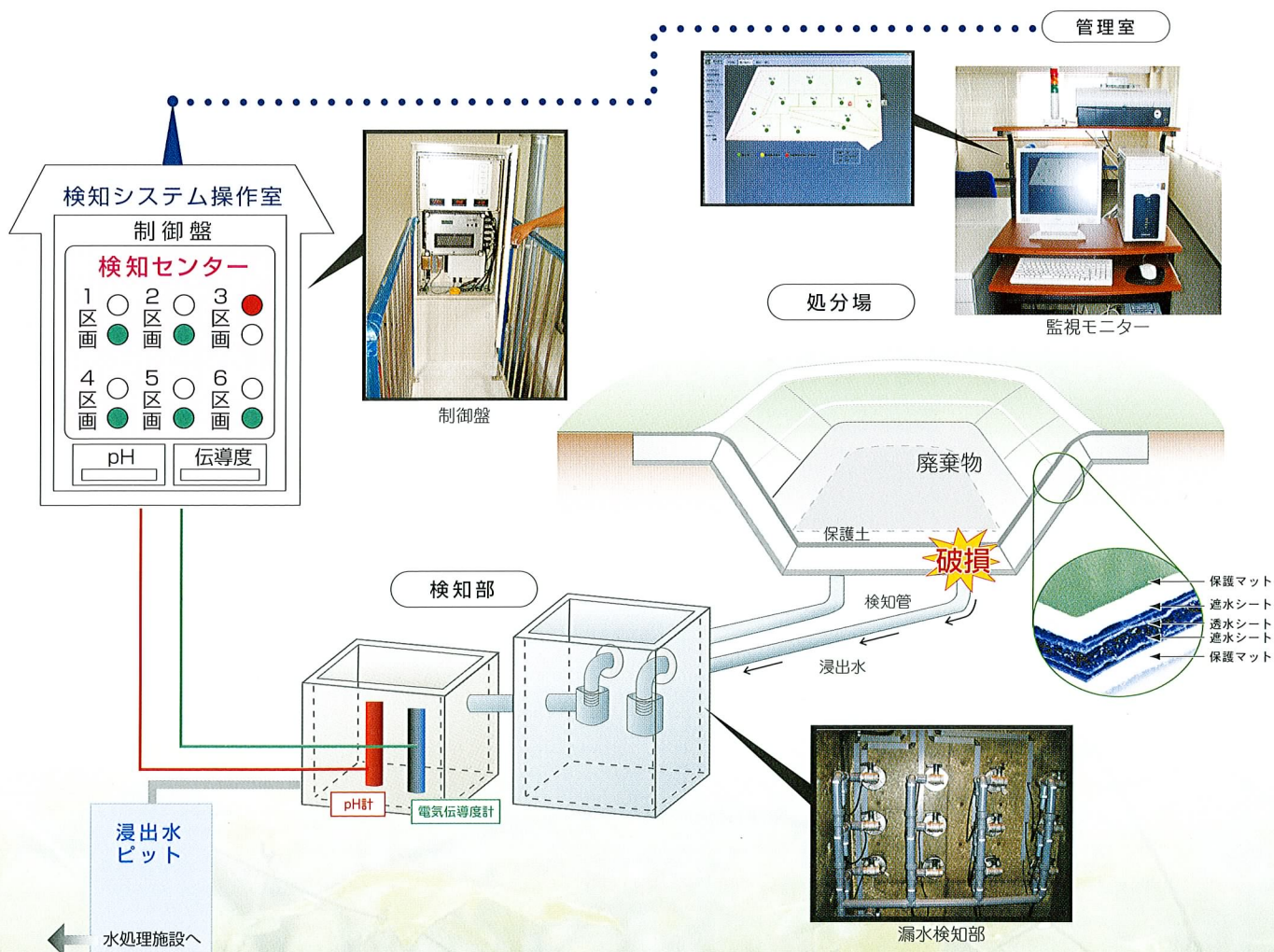
300～500m²/1ブロックごとでの連続的なモニタリングが可能で、メンテナンスフリーです。

Point

万一異常が発生した際、検知管からのコロイド溶液注入により、破損部を即座に修復することができます。

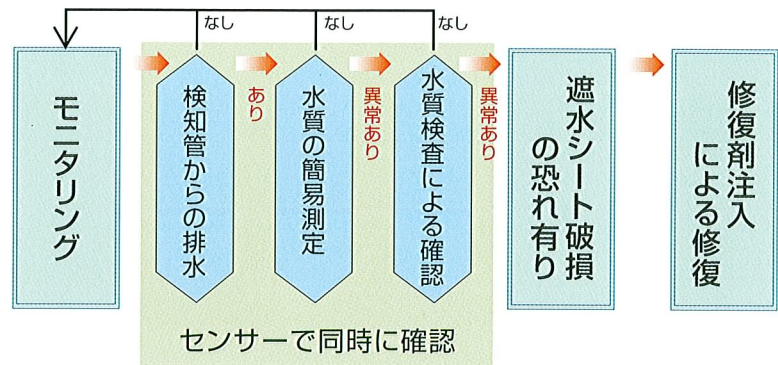
Point

■ システム全体図



漏水検知修復フロー

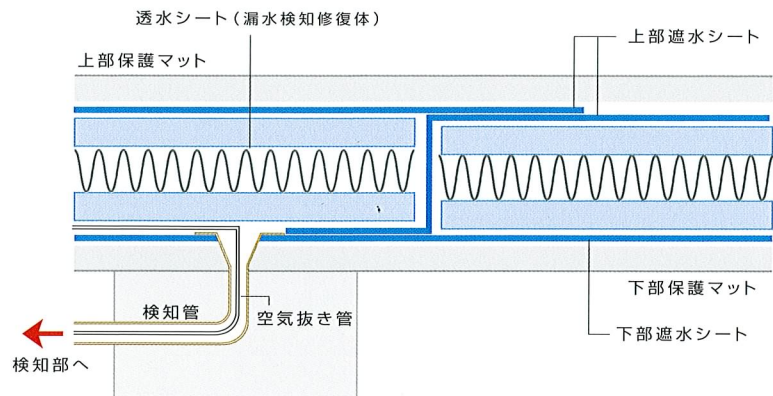
検知管からの排水の有無を目視またはセンサーにより確認します。漏水がある場合には、電気伝導度、pH計のデータを収集して浸出水の性質を調査します。水質検査により異常が認められた場合、修復剤を注入し、遮水シートの破損を修復します。



漏水検知

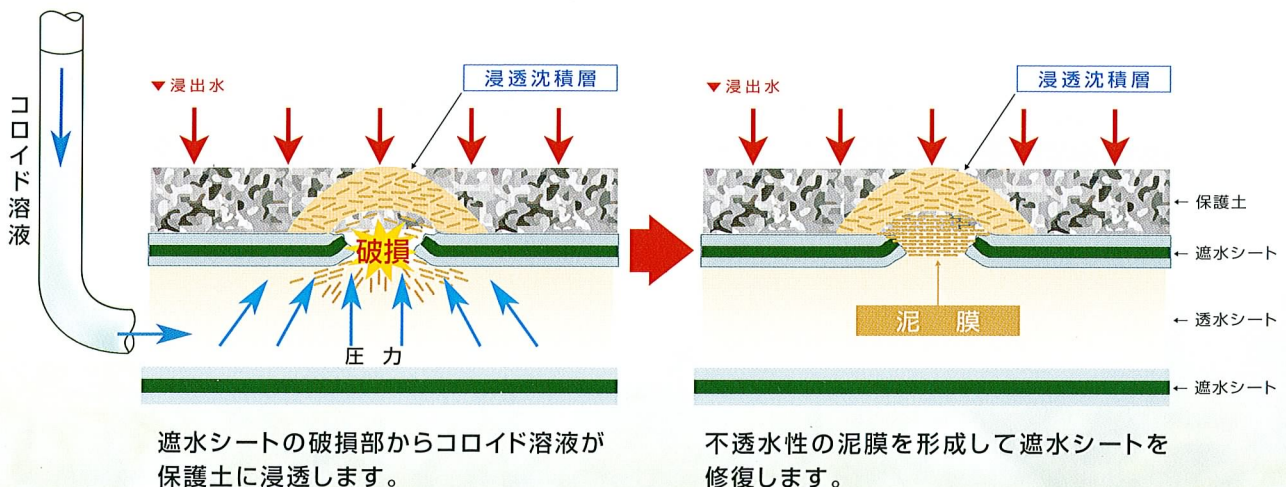
遮水シートが破損すると、2重遮水シート間に介在させてある通水性に優れた透水シート（漏水検知修復体）から浸出水が検知管へと自然流下し、検知部の集水容器に流れ込みます。

集水容器には流入を検知するセンサーがあり、24時間連続的に監視を行います。また、減圧検査との併用も可能です。



修復方法

検知管からコロイド溶液を注入し、破損した遮水シートを修復します。空気抜き管からコロイド溶液が流出した時点で注入を完了します。修復後に遮水シートが破損しても自然に修復が行われます。



施工実績

長野県北信保険衛生施設組合
(大俣処分場)

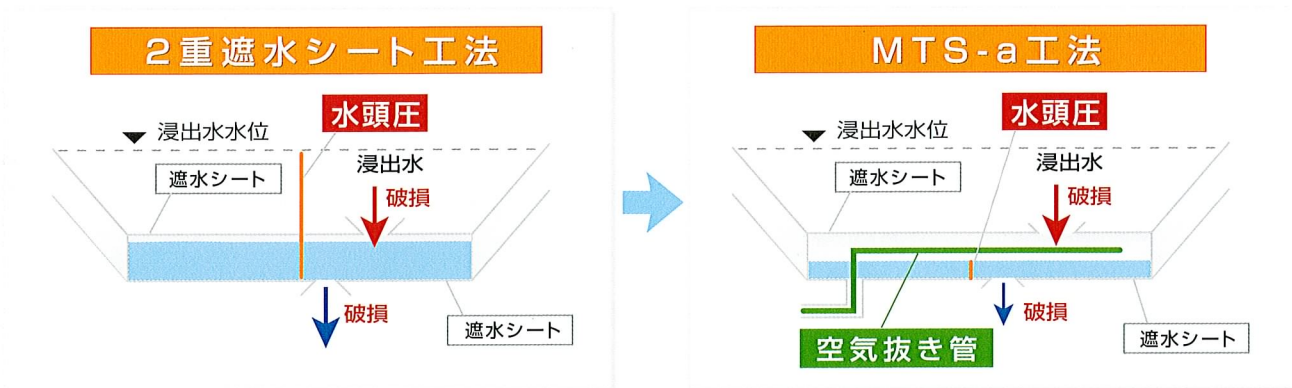


長泉ハイトラスト(株)
(長泉町一般廃棄物最終処分場) PFI事業



安全性

通水性に優れた透水シートと検知管により、浸出水を速やかに排出します。また、2重遮水シート間に設置した空気抜き管によって遮水シートにかかる浸出水の水頭圧を低減し、漏水量を減少させることができます。排水された浸出水は、浸出水処理施設に送水し浄化します。



株式会社 浅沼組 Asanuma Corporation

本社・大阪本店

〒543-8688 大阪市天王寺区東高津町12番6号
☎ 06-6768-5222

東京本店

〒160-0007 東京都新宿区荒木町5番地
☎ 03-5269-3111

名古屋支店

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南3丁目3番44号
☎ 052-571-5571

技術研究所

〒569-0034 大阪府高槻市大塚町3丁目24番1号
☎ 072-661-1620

北海道支店

〒062-0903 札幌市豊平区豊平3条1丁目1番5号
☎ 011-842-6131

東北支店

〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目15番17号
☎ 022-221-4501

北関東支店

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町2丁目194番地
☎ 048-657-0701 (YSビル)

横浜支店

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2丁目20番3
☎ 045-322-7321 (第5安田ビル)

神戸支店

〒651-0088 神戸市中央区小野柄通7丁目1番1号
☎ 078-251-0395 (日本生命三宮駅前ビル)

広島支店

〒732-0806 広島市南区西荒神町1番8号
☎ 082-568-8311 (テリハ広島)

九州支店

〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1丁目14番8号
☎ 092-411-0636

お問い合わせは、東京本店 技術本部 土木技術部まで